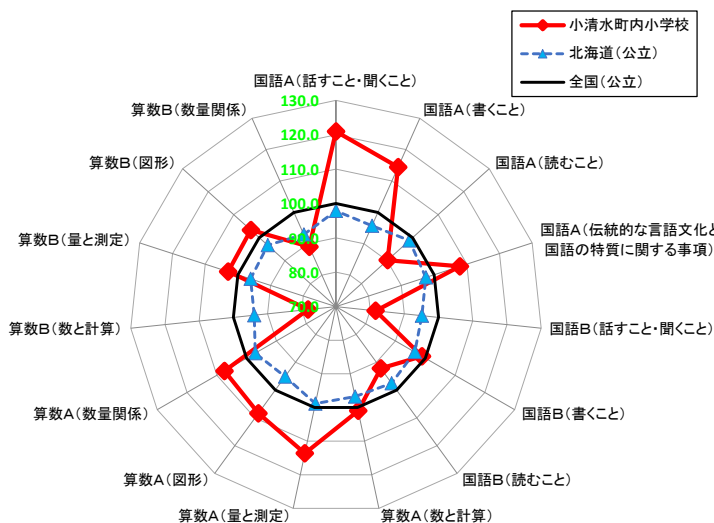


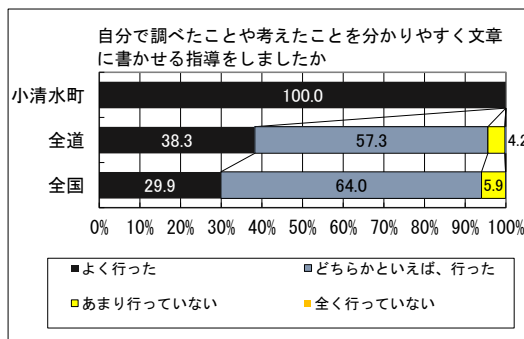
■小清水町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1、児童数:24名)

【教科全体の状況】

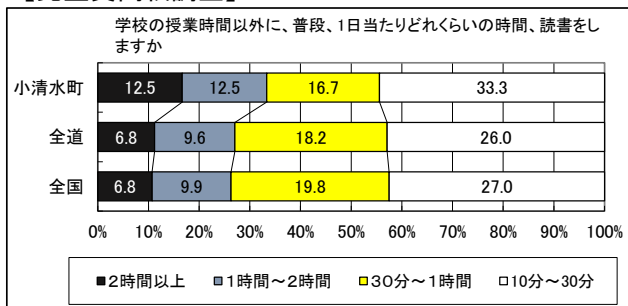
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



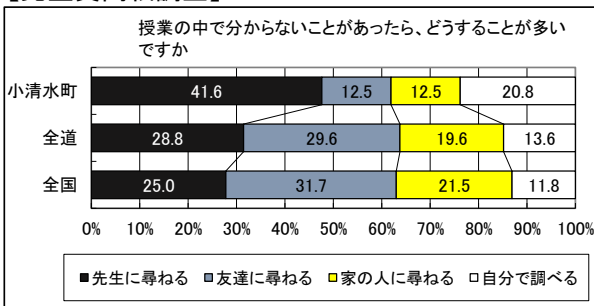
【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で、全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、すべての領域で、Bでは、「量と測定」「図形」で、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 読書の習慣が図られていることや、学校が、文章を書かせる指導を継続的に行ってきたことから、国語科の「書くこと」「話すこと・聞くこと」の力が身に付いたと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校の授業以外に、普段、1日当たり1時間以上読書する」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「授業の中で分からないことがあったら先生に尋ねる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業において、児童が疑問に思ったことなどを、教員に積極的に聞くことで、授業の内容の理解につながり、基礎的・基本的な知識・技能の定着に結び付いたと考えられる。 ○ 身に付けた基礎的・基本的な知識・技能を意欲的に活用するとともに、思考力を高める授業改善を行っていく必要がある。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をよく行った。 	

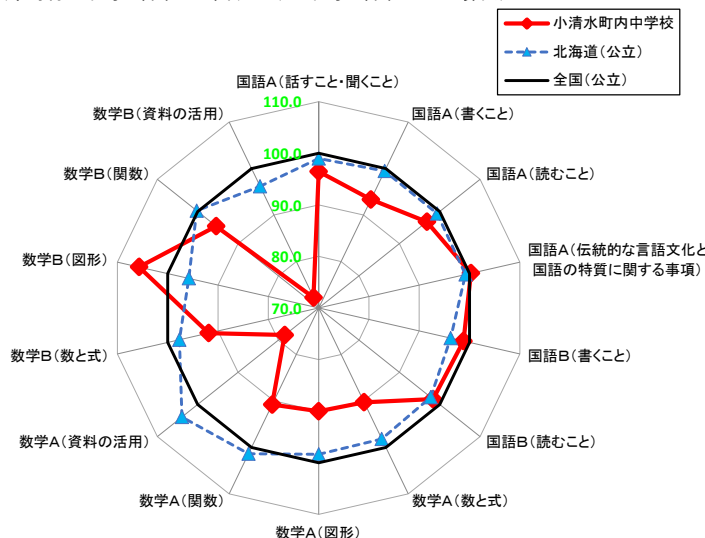
【小清水町の学力向上策】

- ◎ 土曜授業の実施による反復学習の時間の確保(詰め込み型カリキュラムの解消)
- ◎ 小中一貫教育による義務教育9年間を通じた教育課程の編成と系統的な教育を施すための新しい教育づくりの推進
- ◎ 生涯を通じた学習環境の充実や学校・家庭・地域の連携

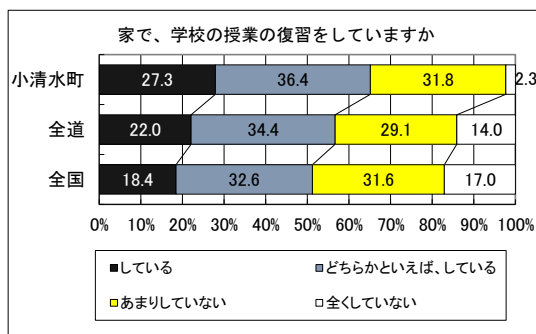
■小清水町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1、生徒数:44名)

【教科全体の状況】

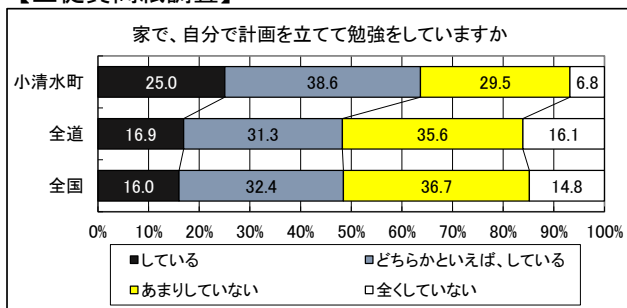
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



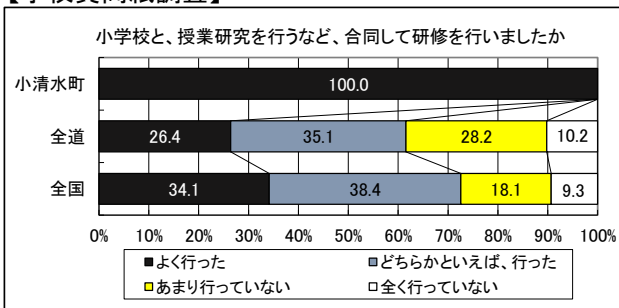
【生徒質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国を上回っている。 ○ 数学Bでは、「図形」で、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習で明らかになった課題について、計画に基づいて解決を図ることの大切さを継続的に指導することで、主体的に考える力が身に付いたと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道よりも高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今後も、継続的に小・中学校が合同で研修を行うことにより、指導内容の関連性を相互に理解するとともに、生徒の実態に即した授業改善を図っていく必要がある。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修をよく行った。 	

【小清水町の学力向上策】

- ◎ 土曜授業の実施による反復学習の時間の確保(詰め込み型カリキュラムの解消)
- ◎ 小中一貫教育による義務教育9年間を通じた教育課程の編成と系統的な教育を施すための新しい教育づくりの推進
- ◎ 生涯を通じた学習環境の充実や学校・家庭・地域の連携